



2023年6月6日
報道関係者各位

未来の先生フォーラム 実行委員会

令和5年7月15日（土）13：30より
未来の先生フォーラム
より良い授業と教育活動を創出するには何ができるか
－「授業DX」の可能性－を開催！
オンライン開催・参加費無料！

未来の先生フォーラム実行委員会（東京都新宿区、実行委員長：宮田純也）は、令和5年7月15日（土）13：30より、より良い授業と教育活動を創出するには何ができるか－「授業DX」の可能性－（<https://classdx.peatix.com/>）をカシオ計算機株式会社と共催にて、完全オンライン・参加費無料にて開催することを発表します。

主催 未来の先生フォーラム 共催 CASIO

より良い授業と教育活動を 創出するには何ができるか

「授業DX」の可能性

 **高橋純** 先生
東京学芸大学教育学部教授

 **田口純平** 先生
浦和実業学園
中学校・高等学校 教諭

7.15（土）13:30-15:30 **参加費無料** **オンライン開催**

<概要>

学校の教育活動において重要な要素は授業にあると言えますが、学校現場では、デジタル化の進展や、アク

ティブラーニング・探究学習の導入が授業方法を変えています。

授業が変われば、教育活動も変わり、ひいては学校全体も変わっていきます。一方で、授業の変わらない本質も存在するはず。本プログラムは、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の観点から授業を見つめ、授業の本質を踏まえながら、より良い授業と教育活動の創出を実現するための方法を考察するものです。最終的には授業改善から実践する学校改善の実現まで検討することを目指します。

<スケジュール>

・ 13：30－14：10

特別招待講演：授業の不易流行－「授業DX」の可能性を探る－

高橋純先生（東京学芸大学教育学部 教授）

・ 14：10－14：40

講演：これからの授業をデザインして実践する－ICT・アクティブラーニング・受験指導を融合する授業－

田口純平先生（浦和実業学園中学校・高等学校 教諭）

・ 14：50－15：30

対談：より良い授業と教育活動を創出するには何ができるか－「授業DX」の可能性－

<特別招待講演者紹介>



高橋純先生

東京学芸大学教育学部 教授

教育工学，教育方法学，教育の情報化に関する研究に従事。中央教育審議会臨時委員（初等中等教育分科会）（2019～）（教員養成部会（2019～）），デジタル学習基盤特別委員会・委員長代理（2023～），教員養成フラッグシップ大学推進委員会（2021～），教科に関する専門的事項に関する検討委員会・主査代理（2023～），文部科学省「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会」委員（2023～），文部科学省「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」委員（2022年～）等を歴任。第17回日本教育工学会研究奨励賞受賞。日本教育工学会・理事，日本教育メディア学会・理事，日本教育工学協会・会長，独立行政法人教職員支援機構・フェローなど。

<お申込み>

・ 参加無料

お申込み⇒ <https://classdx.peatix.com/>

【「未来の先生フォーラム」】

Facebook : <https://www.facebook.com/sensei.mirai/>

Twitter : https://twitter.com/sensei_mirai

HP : <https://www.mirai-sensei.org/>

【「未来の先生フォーラム」とは】

未来の先生フォーラムは、社会の動向を理解し、自ら学び、専門性を向上させたいと願う先生たちをはじめ、教育業界の関係者が来場し、相互に学び合う日本最大級の教育イベントです。未来の先生展として2017年に初めて開催し、2日間でのべ約3,000人が参加する国内最大級の教育イベントです。本イベントでは、学校教育から生涯教育まで多彩な領域の教育について学べます。2日間のイベントは、「つながる・ひろがる・うまれる」というキャッチフレーズを据えています。本イベントを通して、来場者同士が、“つながり”、“その”つながり”から知識や視点が“広がり”、新たな取り組みや知識が“生まれる”場、教育のイノベーションの場でありたいという願いが込められています。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

未来の先生フォーラム実行委員会

〒160-0022

東京都新宿区新宿7丁目2-6-7 ビクセル新宿1F

Tel: 03-4400-6526 Fax: 03-4400-6403 MAIL: office@mirai-sensei.org

HP: <https://www.mirai-sensei.org/>